

報道関係各位

夢真グループ外国人エンジニア採用・日本語教育拠点 「夢テクノロジー코리아」を新設いたしました!!

当社は、2011年より製造業界およびIT業界にエンジニアを派遣する株式会社夢テクノロジーを子会社化し、「外国人」「女性」という独自の採用方針でエンジニア数を伸ばしてまいりました。そしてこれまでに、フィリピンとベトナムにて日本語教室を展開し、200名以上の外国人エンジニアに、日本での就業機会を提供してまいりました。今後も、より多くの外国人エンジニアを日本の市場へ供給していくため、この度、韓国・ソウルにて「夢テクノロジー코리아」を新設いたしました。

■ 夢テクノロジー코리아の概要

- 【名称】 夢テクノロジー코리아
- 【場所】 ソウル特別市鍾路区昌慶路 254、8階(明倫2街、エデュセンター)
- 【設立目的】 韓国の優秀なエンジニアの日本就労サポート及び日本語研修
- 【設立年月日】 2019年4月1日
- 【生徒数】 受講可能人数 最大144名
- 【学習期間】 10ヶ月



↑エンジニア日本就労サポート施設及び日本語研修施設

■ 韓国での就労状況

韓国国内では若年層(15歳～29歳)の失業率が約10%にまでの上り、若者の就職難が社会問題化しています(右図参照)。

韓国の大学進学率は約70%といわれており、OECD(経済協力開発機構)に加盟している36ヶ国の平均である62%を大きく上回り、世界最高水準といわれています。韓国国内の就職ポータルサイト「JOB KOREA」によると、入社1年目の年収が、大企業で3,855万ウォン(約377万円)なのに対し、中小企業は2,523万ウォン(約247万円)とのことです。このように、大企業と中小企業との間で賃金等の格差が広がっており、就業希望者が安定的な雇用を求めて大企業及び公務員に集中してしまっている状況です。その結果、大卒就職率は年々下がり、2017年には62.6%まで減少しています。

雇用格差の改善策として、韓国政府は最低賃金の引き上げを2017年より毎年行っており、2018年には16.4%上昇させ、2019年にはさらに10.9%上昇させました。急激な最低賃金上昇により人件費が圧迫され、中小企業ほど採用枠を絞らざるを得ない状況となりました。その結果、就職ポータルサイト「サラミン」が行った調査では、約4割にのぼる企業が、2019年度の採用は見送ると回答しており、就労機会の減少が続いている状況です。

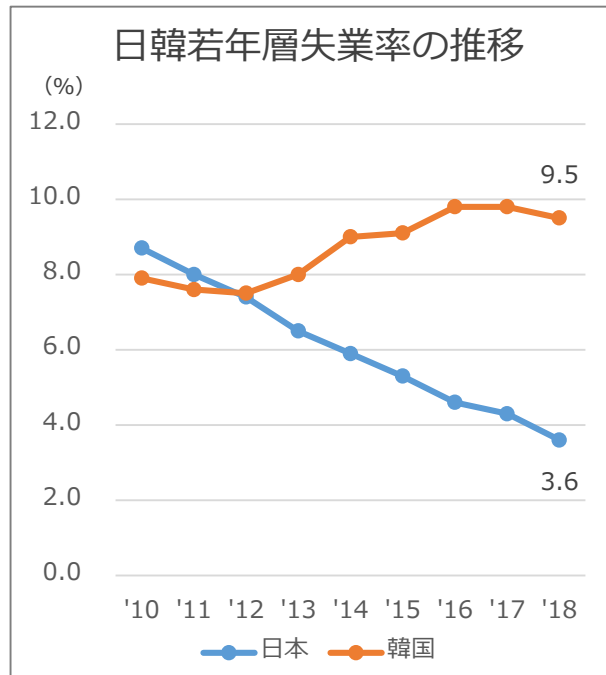
■ 韓国と日本のエンジニア事情

韓国・ソフトウェア政策研究所の調査資料によると、ソフトウェア関連学科(アプリケーションソフトウェア専攻、コンピューター工学専攻、情報通信専攻)の学生は毎年3万人以上が卒業しています。しかし彼らの就職率は約70%と低い水準で推移しています。一方、日本のIT人材に関しては、2030年には約79万人^{*1}が不足するという統計が出されており、需要が非常に強い状況にあります。韓国若年層の雇用機会改善策として、韓国政府主導による海外就労支援策「K-move」等が現在も行われています。しかし語学力の不足など、日本企業とのミスマッチが発生している状況です。

当社としましては、韓国の、理工系学生及びエンジニアキャリアのある有能な人材に対し、「日本語教育を施すことにより、日本での就労機会を提供してまいります。

■ 夢真グループの外国人エンジニアの特徴

当社グループが派遣する外国人エンジニアは、理系学卒者や既にエンジニアとしてキャリアを積んでいる方を対象として採用しており、その方達を対象に日本語教育を施すことで、日本でのスムーズな就労が可能となっております。また、日本語教育のレベルに関しても、日本語能力試験(JLPT)が設定する5段階の難易度の内、上位2段階(N1、N2)を卒業レベルとして掲げています。そのため、来日後の就労及び日常生活においても、環境に馴染みやすく、派遣先企業から高い評価をいただいております。さらに、日本語教育に関して、20年来の社内ノウハウがあるため、約10ヶ月という短期間で習得が可能となっております。



出典：総務省「労働力調査」、韓国統計庁「経済活動人口調査」

さらに、現地大学である漢城大学と協力し、大学施設内に当社研修施設を開設いたしました。これにより、安定的な入学者の確保を実現すると共に、韓国の若者にとっても、身近な就労先候補として選択肢の提供が可能となります。

■ 外国人エンジニアに関する今後の展望

IT 業界では 2030 年に約 80 万人^{*1}の人材不足が叫ばれると試算されており、IT 人材に関する調査^{*2}では、年々不足感が高まっているという結果が提出されています。そうした中で、政府としても外国人材の受入拡大などの措置が取られています。

当社としましても外国人エンジニアの採用を積極的に展開させていく方針です。2019 年 9 月期の採用計画 200 人に対し、2019 年 5 月末時点で 120 人以上の採用実績となっております。また、これまでに日本語学校を展開しているフィリピン、ベトナム、そして今回の韓国に加え、台湾、ロシア、ポーランドでの開設も計画しており、これら日本語学校の卒業者が 2020 年 9 月期に 1,000 名になることを見込んでおります。

^{*1} みずほ情報総研株式会社「IT 人材需給に関する調査」(2019 年 3 月)

^{*2} 独立行政法人情報処理推進機構 IT 人材育成本部「IT 人材白書 2018」(2018 年 4 月 27 日)

以 上

＜本件に関する報道関係の皆様からのお問合せ先＞
夢真ホールディングス IR 室 担当：森田、富田
TEL：03-3210-1212 FAX：03-3210-1209